

【コース】 病気の基礎 2

【コースディレクター】

CD : 村上 孝(微生物学)

【コースの概要】

「病気の基礎 2」コースは、「病気の基礎 1」コースとともに、基礎医学(「細胞生物学 1, 2」および「人体の構造と機能 1, 2」コース)から、臨床医学や社会医学への「橋渡し」として設定されている。感染、免疫、疫学の 3 つのユニットから構成されており、それぞれの視点から、医学をさらに学んでいく上で必要な事項を学習していく。本コースは病気の基礎となる概念やそれが形成されてきた過程の理解から「ヒトの病気」コースへと発展していく。

【目 標】

正常の人体の構造や機能に関する知識を基に、臨床医学と社会医学を理解するために必要不可欠な疾病に関する基礎的な知識の修得を目的とする。感染では感染性微生物(ウイルス, 細菌, 寄生虫など)を, 免疫では免疫機構(感染防御, アレルギー, 移植免疫, 自己免疫などの基礎)を, 疫学ではその原理と方法を理解する。また講義と実習は, 医学・医療の発展のために研究が重要であることを認識し、研究(実験)の計画、実施、結果の解析、発表などの具体的な過程や手法を理解することを目的としている。

【学習方法】

1 学期に講義・実習を行う。

【評価方法】

3 ユニットともに定期試験 1 回を実施する。定期試験の成績, 実習に関しての評価などに基づいて各ユニットの可否を判定する。各ユニットにつき 1 回の再試験を行う。受験資格, 評価基準, 評価方法は学生便覧ならびに各ユニットの項目を参照すること。

【指定教科書】

◆ 各ユニットの指定教科書(各ユニットを参照されたい)。